

「心豊かに生きるための、お金との付き合い方」



長野県内金融機関勤務

信州自遊塾事務局メンバー 富取 寛晴

信州自遊塾の活動理念は「これからの人間の生き方を考えよう」です。これには色々な切り口がありますが、私は金融機関で働く仕事柄、“マネープラン”や“資産運用相談”に携わっていますので、今回は“お金”に焦点を当ててお話しさせていただきます。

現代は空前の“貨幣経済”社会です。大都市はもちろん、ここ信州だってそのシステムに組み込まれて存在しています。私たちにとって、この“貨幣経済≒お金”とどうやって付き合っていくかは、人生を心豊かに過ごしていくために、切っても切れない命題です。お金はどんなに多くても邪魔にはなりませんので、つつい際限なく求めてしまいますが、“これだけあれば十分安心”とは思えないところがまた曲者です。また、残念ながら日本も先進諸国のご多分に漏れず、着実に格差社会に向かっていきます。それはつまり一部の富める者がより富み、多数の持たざる者はより貧しくなっていく社会です。このような社会の流れにあっては、お金に意識を向ければ向けるほど心穏やかではいられなくなります。

私たちは“お金”に振り回されず、それでいて上手く折り合いを付けながら、充実した人生を送りたいものです。そのために大切なことは何でしょうか？“足るを知る”の心構えも大事でしょう。

“お金の依存し過ぎない生活を目指す”当然のことですが、これが現実的な分かりやすい方向性かと思います。そのための手法として私は以下の3点を挙げたいと思います

1. 消費生活の中に、貨幣経済とは別の“サブシステム”を持つ

7年前に発売され40万部を超えるベストセラーになった“里山資本主義”（ご存じない方は是非ご一読を！）で、著者の藻谷浩介さんは「今支払っているもの全て、お金で買うことが合理的で効率的なのかを問おう。自然の恵みを享受する暮らしを“サブシステム”として組み込もう」と仰っています。過日の当コラム欄で増田望三郎さんが“半農半Xというライフスタイル”を取り上げておられました。食糧を全て購入に頼るのではなく、一部は自らの手で作る。これは立派なサブシステムのひとつだと思います。長野県に住む私たちは都市圏に住む人たちと比べて、

この“サブシステム”を実践する環境に恵まれています。これは特筆すべきことであり、東京からIターンしてきた私は、地元生まれ育ちの方よりもそのことを強く感じます。

2. Do It Yourself 自分でやろう

どの世界にもその道のプロが居て、お金さえ支払えば大抵のことは上手く仕上げてくれます。ですが、何でもお金で解決しようとするその姿勢は、まさに貨幣経済にどっぷり浸かり、踊らされている証左です。日曜大工で自分で出来ることは自分でやってみる。不完全な出来上がりでもそれを楽しむ度量を持ちたいものです。外食ではなく自分で料理してみる。自家用車ではなく自転車を使う。自ら体を動かすことで得られる新たな発見を楽しみましょう。

3. お金がかからない趣味を持つ

ご存知の通り日本人の平均寿命は世界最高水準で、余暇・老後の時間はどんどん長くなっています。

“お金が無くても心から楽しめる”趣味を持ちましょう。それもなるべくたくさん。趣味は何でも良いと思いますが、ここ長野県には全国の人達が羨む自然があり、一級の山々があります。これを活用しない手は無いと思います。



一度に生活を変えることは難しいでしょうが、少しずつでも近づけるよう考え行動してみませんか。

2020年7月22日

【会員さんの声】

コロナで、人間関係の希薄さがますます強調されるように思います。人々の疎外感が何を産み出すか、不安を感じます。自遊塾の発信が人々の絆をより強めることを期待しています。

曾我参作さん（元事務局メンバー・現在兵庫県在住）

◇ミニコラム 事務局メンバー紹介◇

松尾 昭（まつおあきら）



大阪で生まれ育ち、大学で名古屋、就職で東京と渡り歩いて、28年前に翻訳ソフト開発の会社を起業。22年前に会社ごと松本に1ターンしました。自遊塾は立ち上げ当初から事務局の一員です。

STAY HOME をきっかけに、今、若い人たちの間で爆発的な人気になっているものをご存じでしょうか。「愛の不時着」という韓国ドラマです。

北朝鮮にパラグライダーの「不時着」で侵入してしまった韓国女性と、遭遇した北朝鮮兵士のラブストーリーで、「ロミオとジュリエット」のような命がけの恋愛の緊張感や「冬のソナタ」以上とも言えるロマンスや俳優が魅力です。

しかし、大ヒットした理由は、究極の異文化交流である南北の人たちの交わりの面白さにありそうです。

冷蔵庫もないような北の国の田舎の人たちの不自由なのに心暖まる暮らしと、その真逆で現代文明の最先端を享受しているはずのソウルの財閥家族の冷酷な人間関係は、自遊塾のテーマの「これからの生き方を考える」きっかけにもなります。

ドラマでは、いくら国家が禁止していても、南の国の文化を賢く取り入れて楽しむ北の国の庶民たちも描かれています。そのしたたかさは、いろんな国で劣化しているように思える国家のリーダーや権力とどう対峙するかヒントになるようにも思います。

今は有料のネット動画サイトでしか見られませんが、ネットの動画に詳しいお子さん・お孫さん・お知り合いに聞けば、コロナ以外の会話のネタになるかもしれません。